

『歴史に潜む忍者たち』 ワークシート②

① 下線に当てはまる言葉を入れましょう。

栄養的な観点から忍者は穀物を中心に、低カロリー、低脂肪で、たんぱく質が多いものを好んで食べた。

～忍び装束の部位の説明～

ふんどし…長さ約1.8mの白い布で、首から掛けて股の間を通して腰で結んで使った。
簡単に結ぶことができるため、ロープや包帯にもなった。

わらじ…夜に目立たなくするため、黒に着色して使用された。

足袋…足にはくもので、屋敷に忍び込んだときに足音がしないように底に綿を厚く入れた。

いろは47文字と「ん」の文字を木・火・土・金・水・人・身のそれぞれの偏と色・青・黄・赤・白・黒・紫のつくりで表したものを忍びイロハという。

② 忍者は右脳を活用した「連想法」(イメージ化して覚えること)で情報を暗記していました。

この「連想法」を使った記憶方法を本や Web ページ等を参考にしてまとめてみましょう。まとめ終わったら友達や周りの人と見せ合って批評してみましょう。

(解答例)

1はイチゴ、2はにんじん、3は山椒、4はシラス、5はごぼう、
のように数字を食材に置き換えて覚える。

こうすることで、食材の強いイメージが頭の中につき何らかの
数字や日付を効率よく覚えられる。

例えば、1月4日ならイチゴとシラスのイメージで暗記する。

お疲れ様でした！

名前：

解答